

VOL.58 トップインタビュー 新たな時代に向け、進化する東洋学園大学 第6代理事長 江澤雄一

1926年開校の東洋女子歯科医学専門学校にルーツを求めることができる学校法人東洋学園(東京都文京区)の歴史は、すでに90年を数えようとしている。1950年には東洋女子短期大学を開学するなど現在の東洋学園大学の礎を築き、早いもので女子高等教育に傾注して60年、4年制の男女共学教育に限れば今年で20年目を迎えた。節目の年を迎えた同大は来春4月、従来の「人文学部」「現代経営学部」の2学部構成から「グローバル・コミュニケーション学部」「人間科学部」「現代経営学部」の3学部構成へと再編予定だ。本郷キャンパスに江澤雄一理事長を訪ね、新しい時代を見据えた大学像や新学部開設の狙いについて語っていただいた。

自ら考え、切り拓く力を

リベラルアーツの中で醸成

「貴学は長年にわたり、リベラルアーツを求めていることがよくわかる。学校法人東洋学園がリベラルアーツ教育に力を入れ、自由な学びのための知恵を養い、力を身につけて欲しい」といって話します。現代社会のように変化の激しい時代では、単なる知識・スキルが急速に進化し、一部横断的リベラルアーツ教育や過去の経験だけでは対応できなくなっています。リベラルアーツの適切な導入により、学生はどのような状況でも自ら考え、切り拓く力を身につけることができ、その力を活かして社会で活躍するようになっていくことが期待されています。



江澤雄一(えざわゆういち) 東京大学法学部卒。ハーバード大学行政学修士。大蔵省(現・財務省)国際金融局長などを歴任。現在、UBS銀行グループ特別顧問も兼任。2003年4月より現職。

Table with 2 columns: Year (大正6年, 大正15年, etc.) and Event (9月、前身・明華女子歯科医学講習所開校、11月、歯科医師法による女子初の文部大臣指定校として、旧制東洋女子歯科医学専門学校を創立、etc.)

Topic 充実の英語教育プログラム 東洋学園大学の英語教育の到達目標は「使える英語能力を身につけること」。学生一人ひとりのレベルに合わせた習熟度別のクラスで、目標達成に必要な指導を日本人教員とネイティブスピーカーが連携しながら行っている。また1クラスは約20人と、少人数で行われているのが特徴。教員の目が行き届く環境の中できめ細かな指導が行われている。このほか、イギリスやアメリカの大学生をインターンシップ生として受け入れている同大には、学内に居ながらして同世代のネイティブたちとの交流の中で語学を学ぶことができる環境が整っている。入学当初、TOEICのスコアが380点だった学生がこうした英語教育と半年間の留学経験などを通じて4年次には930点もの高得点を獲得するなど、同大の英語教育は、意欲ある学生に特に効果の高い仕組みとなっている。

「貴学が目指す大学像について教えてください。」 大学の使命は何かという問いに、私は「通じる教育がある」と答えています。通じる教育とは、学生が主体的に学び、自ら考え、切り拓く力を身につけること、そして、その力を活かして社会で活躍することです。リベラルアーツ教育は、まさにそのような教育を実現するための重要な手段です。リベラルアーツ教育は、単なる知識・スキルの習得だけでなく、学生が自ら考え、切り拓く力を身につけることを目指しています。リベラルアーツ教育は、学生が主体的に学び、自ら考え、切り拓く力を身につけることを目指しています。リベラルアーツ教育は、学生が主体的に学び、自ら考え、切り拓く力を身につけることを目指しています。



自身の海外勤務での経験からも「若者にはもっと海外に出て活躍してもらいたい」と、江澤理事長

「保護者との交流も積極的に行っています。」 保護者との交流は、学生の成長にとって非常に重要です。保護者から学生の現状や悩み、希望などを聞き取り、適切な指導やサポートを行うことが、学生の健全な成長を支える鍵となります。また、保護者同士の交流を通じて、お互いの子育ての悩みや経験を共有し、支え合える環境を整えることも大切です。保護者との交流は、単なる情報交換だけでなく、相互の理解と信頼を築くことが重要です。

「多極化世界で活躍する人材を育成。」 多極化世界で活躍する人材を育成するためには、学生がグローバルな視点を持ち、多様な文化や価値観を理解し、コミュニケーション能力を高めることが不可欠です。リベラルアーツ教育は、まさにこのような人材を育成するための重要な手段です。リベラルアーツ教育は、学生が主体的に学び、自ら考え、切り拓く力を身につけることを目指しています。リベラルアーツ教育は、学生が主体的に学び、自ら考え、切り拓く力を身につけることを目指しています。

「可能性の開拓に挑戦しよう。」 可能性の開拓に挑戦しよう。人生には無限の可能性があり、それを最大限に活かすためには、自ら考え、切り拓く力を身につけることが重要です。リベラルアーツ教育は、まさにそのような教育を実現するための重要な手段です。リベラルアーツ教育は、学生が主体的に学び、自ら考え、切り拓く力を身につけることを目指しています。リベラルアーツ教育は、学生が主体的に学び、自ら考え、切り拓く力を身につけることを目指しています。

「世界で活躍される卒業生が多いのも特色の一つです。」 世界で活躍される卒業生が多いのは、リベラルアーツ教育の成果です。リベラルアーツ教育は、学生が主体的に学び、自ら考え、切り拓く力を身につけることを目指しています。リベラルアーツ教育は、学生が主体的に学び、自ら考え、切り拓く力を身につけることを目指しています。リベラルアーツ教育は、学生が主体的に学び、自ら考え、切り拓く力を身につけることを目指しています。

「現在の大学教育の課題は、保護者との交流も積極的に行っています。」 現在の大学教育の課題は、保護者との交流の不足です。保護者から学生の現状や悩み、希望などを聞き取り、適切な指導やサポートを行うことが、学生の健全な成長を支える鍵となります。また、保護者同士の交流を通じて、お互いの子育ての悩みや経験を共有し、支え合える環境を整えることも大切です。保護者との交流は、単なる情報交換だけでなく、相互の理解と信頼を築くことが重要です。

「グローバル・コミュニケーション学部を新設。」 グローバル・コミュニケーション学部を新設。この学部は、学生がグローバルな視点を持ち、多様な文化や価値観を理解し、コミュニケーション能力を高めることを目指しています。リベラルアーツ教育は、まさにこのような人材を育成するための重要な手段です。リベラルアーツ教育は、学生が主体的に学び、自ら考え、切り拓く力を身につけることを目指しています。

「高校の先生方に貴学のピアラーをお願いしています。」 高校の先生方に貴学のピアラーをお願いしています。貴学の教育理念やカリキュラムについて、高校の先生方に理解を促し、貴学の魅力を伝えることが、貴学のイメージアップや進学率向上に大きく貢献すると思います。また、貴学の先生方と連携し、学生への指導やサポートを行うことも、貴学の教育の質を高めることに繋がります。

「2011年5月、東洋学園大学の教員11人による共著『国際政治経済を学ぶ〜多極化と新しい国際秩序』が上梓された。」 2011年5月、東洋学園大学の教員11人による共著『国際政治経済を学ぶ〜多極化と新しい国際秩序』が上梓された。これは、国際政治経済の分野で活躍する教員が参加する学部横断的な研究プロジェクトとして進められてきたものである。本書では、歴史的な構造変化を遂げつつある世界秩序の行方や世界情勢を分析し、分かりやすく解説。現代世界が抱えるさまざまな課題を理解する上で役立つ好著だ。国際政治経済分野の上知識豊富な教員を持つ同大だからこそできる成果であろう。

